

●平成28年度 国民健康保険料の料率(案)について

①【H27年度実行保険料率】

H27年度	所得割	均等割	平等割	均等+平等	賦課限度額
医療分	7.30 %	18,510 円	24,590 円	43,100 円	520,000 円
支援分	2.90 %	12,820 円	0 円	12,820 円	170,000 円
医療・支援計	10.20 %	31,330 円	24,590 円	55,920 円	690,000 円
介護分	2.80 %	13,270 円	0 円	13,270 円	160,000 円
合計	13.00 %	44,600 円	24,590 円	69,190 円	850,000 円

【賦課割合】 医療;45:30:25、支援;45:55、介護45:55

②【H28年度算定保険料率(本来計算)】

H28年度(本来)	所得割	均等割	平等割	均等+平等	賦課限度額
医療分	10.00 %	23,770 円	30,900 円	54,670 円	540,000 円
支援分	2.90 %	12,500 円	0 円	12,500 円	190,000 円
医療・支援計	12.90 %	36,270 円	30,900 円	67,170 円	730,000 円
介護分	2.40 %	11,550 円	0 円	11,550 円	160,000 円
合計	15.30 %	47,820 円	30,900 円	78,720 円	890,000 円

【賦課割合】 医療;45:30:25、支援;45:55、介護45:55

③【H27年度とH28年度との改定差】(②-①)(本来計算)

改定差	所得割	均等割	平等割	均等+平等	賦課限度額
医療分	2.70 %	5,260 円	6,310 円	11,570 円	20,000 円
支援分	0 %	▲ 320 円	0 円	▲ 320 円	20,000 円
医療・支援計	2.70 %	4,940 円	6,310 円	11,250 円	40,000 円
介護分	▲ 0.40 %	▲ 1,720 円	0 円	▲ 1,720 円	0 円
合計	2.30 %	3,220 円	6,310 円	9,530 円	40,000 円

※可能な財源を充てて、引き上げ幅(医療分)の圧縮を図りたい。

170,000千円

I. 本来計算で超過する支援金分と介護納付金分の保険料

本来は引き下げ可能であるが、保険料を据え置くことで得られる財源を充てる。 **26,000千円**

II. 国特別調整交付金(経営姿勢分)

H28予算 131,000千円 H28見込 175,000千円 **44,000千円**

III. 一般会計繰入金(保険者支援分)

H28予算 136,737千円 H28見込 146,737千円 **10,000千円**

IV. 翌年度繰越金

H28繰越額見込 156,212千円 → 療給負担金等の精算を考慮後の実質繰越額 **36,000千円**

V. 国保事業運営基金

H27年度末残高 160,288千円 **54,000千円**

②【H28年度算定保険料率(可能な財源考慮後)】(保険料率案)

H28年度(案)	所得割	均等割	平等割	均等+平等	賦課限度額
医療分	8.40 %	20,220 円	26,290 円	46,510 円	540,000 円
支援分	2.90 %	12,820 円	0 円	12,820 円	190,000 円
医療・支援計	11.30 %	33,040 円	26,290 円	59,330 円	730,000 円
介護分	2.80 %	13,270 円	0 円	13,270 円	160,000 円
合計	14.10 %	46,310 円	26,290 円	72,600 円	890,000 円

【賦課割合】 医療;45:30:25、支援;45:55、介護45:55

③【H27年度とH28年度との改定差】(②-①)(保険料率案)

改定差	所得割	均等割	平等割	均等+平等	賦課限度額
医療分	1.10 %	1,710 円	1,700 円	3,410 円	20,000 円
支援分	0 %	0 円	0 円	0 円	20,000 円
医療・支援計	1.10 %	1,710 円	1,700 円	3,410 円	40,000 円
介護分	0.00 %	0 円	0 円	0 円	0 円
合計	1.10 %	1,710 円	1,700 円	3,410 円	40,000 円